

本社 仙台市青葉区春日町7-5 TEL022(221)4601
 青森支局 青森市古川1丁目21-11 TEL017(722)8631
 岩手支局 盛岡市菜園1丁目3-6 TEL019(651)804E
 秋田支局 秋田市山王4丁目3-10 TEL018(862)6921
 山形支局 山形市松波1丁目10-16 TEL023(641)280C
 福島支局 福島市宮下町17-20 TEL024(534)013E
 東京支局 東京都江東区豊洲1-3-1 TEL03(5547)1367

建設新聞

2017

7月25日

火曜日

を9月に設置する。建設業の健全な存続のための基盤として、予算の獲得と一定の発注業務量の確保も必要とした。(7月21日取材)

就任の抱負を

柴田 芋川災害復旧や大館能代空港アクセス道路など、これまで自分が携わった事業の中で、上司や先輩の激励や理解、県民の声を受けて貴重な経験を積んできた。若い職員に自分の気持ちが届くような仕事をしていきたいし、部下たちには真正面からいろいろな人と接して業務に当たってほしい。

ハード事業の重点課題は

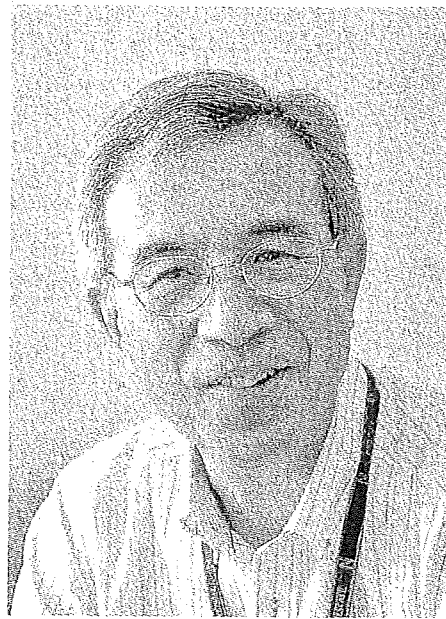
柴田 一丁目一番地は高速道路の整備と早期ネットワーク化だ。本年度は東北中央自動車道「真室川雄勝道路」が新規事業化し、高速道路の全線供用にメドが付いた形であり、一日も早い全線供用を目指す。人口減少社会ではコンパクトなインフラ整備が必要と考え

欠かせない骨格。都市計画

柴田 街路などもしつかり整備して各地域を結び、コンパクトなまちづくりを支えたい。県内人口が減る中、人口密度の低い地域と、中核になる地域を結ぶことが必要だ。

クルーズ船寄港の増加など、港湾を取り巻く状況が変化している

柴田 県内3港へのクルーズ船の寄港は、昨年度の15回に対して本年度は27回の予定で、さらに伸ばしたいと考えており、本年度はクルーズ船が停泊する秋田港のポートタワー「セリオン」近くにターミナルを新築する。また、同港国際コンテナターミナルの取扱量は、年間10万TEUのキャパシティに対して昨年8万TEUを取り扱っており、限界が近い。さらに秋田港、能



地域との信頼関係を大切に

JR東日本東北工事事務所長に就任した

高田 一尚氏



◎……東日本大震災から49日後、東北新幹線が復旧した時に「沿線に地

ロジエクトを進めたい。信頼を失わないよう、安全で安定した輸送を確保

一線で創意工夫に挑んでほしい。感性を生かした技術開発や新しい仕事に

め 秋田港では長期計画を本年度内に策定する。また、

約200人が新たな門出祝う

設立祝賀会などを開催

ビーネットHD

ビーネットホールディングス(仙台市 伊藤俊明代表取締役)は18日、仙台市のホテルメトロポリタン仙台で設立ならびに子会社・BWM(仙台市 齋藤博代表取締役社長)の新社長就任を祝う祝賀会を開催した。冒頭、伊藤社長は創業以来の支援者らに感謝の意を述べるとともに「今回、新たに『before』を創業させることを機に、『B-NET』『BWM』の3社の持ち株会社『ビーネットホールディングス』を設立した。近い将来3社が事業を確立し、さらに事業拡大できるよう展開していきたい」と抱負を述べた。また、産業廃棄物中間処理・収集運搬、伐採工事などのBWMの新社長に就任した齋藤社長は、「私自身が夢や希望、ビジョンを持ち、社内改革・企業活動などを通し、お客さまに感謝し仕事で返していく。現場



伊藤社長



齋藤社長

建設業あこがれのものとして、建設業が健全に存続スタッフやお客さまから信頼されることを心掛け、感謝の気持ちを忘れることなく、皆で力を合わせていく」と決意を表明した。

このほか、伊藤社長が設立の経緯や今後の展望を発表したほか、中野正志参議院議員、宮城県産業廃棄物協会の鈴木昇会長、土木学会地球環境委員会の青山俊介委員長が祝辞を述べると、約200人の参加者が新たな門出を祝った。

シーティーエス

3次元測量やVRを体験

i-Con体験セミナー

シーティーエス仙台支店(木田一平支店長)は、仙台市の同社仙台支店でi-Construction&CIM体験セミナーを開き、約30人がICT活用工事求められる3次元測量や、CIMを活用した最新のVRソフトを体験した。

秋田豪雨

リエゾンなど派遣

東北整備局

東北地方整備局は、秋田

活発な梅雨前線の影響で、秋田県では非常に激しい雨が降り、23日11時には雄物川流域の樺川水位観測所では1936年の観測開始から最大の水位を記録。また雄物川の神宮寺水位観